

◆観光産業の振興について

新型コロナウイルスの蔓延が、観光産業に大変大きな影響を及ぼしています。まずは、緊急対策に全力を尽くし、観光産業の復旧を行わなければなりません。その後に、更に観光産業が発展する取り組みを行っていく必要があります。新型コロナウイルスのような伝染病の発生は今後も可能性があります。また、過去には、隣国との政治的な問題による観光客の大幅な減少も経験しており、観光産業におけるカントリーリスクの回避は重要になると思っています。2018年に九州へ入国した外国人の約75%が韓国と中国からで、欧米は2%程度にとどまっています。韓国や中国以外の国から訪れる観光客も増やし、あらゆる状況下でも持続可能な観光産業への取り組みが必要です。福岡県の観光産業の振興を願って質問を行いました。

Q	1. ラグビーワールドカップの実績を生かして 昨年ラグビーワールドカップでは、欧米豪からの入国者が増えたが、その実績を今後どのように生かしていくのか。
A	昨年は、ラグビーワールドカップ開催もあり、欧米豪から本県への入国者数は、2018年比で15%増となった。来年度はこの成果を踏まえ、 ① 海外の空港を経由して福岡空港または北九州空港に直接入国する方を対象とした航空運賃の割引助成 ② 関西・広島を経由して本県を周遊する旅行商品の造成・販売支援 ③ オーストラリアの旅行専門マーケティング会社と連携した現地でのプロモーションなどに取り組み、欧米豪市場からの誘客拡大を図る。
Q	2. 国内観光客対策 九州への観光客(延べ宿泊数)の85%は日本人観光客であり、観光産業を支えるためには、国内観光客増加に向けた取り組みが重要である。県内で宿泊して北九州市、福岡市以外の観光施設を3か所以上訪問すれば、補助を出す制度が始まるが、観光客に県境は無い。福岡に来て熊本、鹿児島に抜ける、或いはその逆もある。九州各県が連携して魅力を発信するなど、県域を越えた九州への誘客に取り組んでいくべきと考えるが県の見解は？
A	九州各県や九州観光推進機構と合同で、旅行博における九州各県一体となったブースの出展を行うとともに、修学旅行の誘致、ラグビーワールドカップ期間中には祭りのPRを行うなど、九州各地への誘客を促進している。 今後も、世界遺産やひな祭りなど県域を越えたテーマに沿って繋ぎ、周遊性を高める観光モデルルートの開発に取り組むことで、本県への誘客にも繋げていく。
Q	3. 九州・福岡の観光資源の活用 観光関連のサイト「トリップアドバイザー」による、2019年の外国人に人気の日本の観光スポットランキングのベスト30では、1位が伏見稲荷、2位が広島原爆ドーム、3位が宮島と続き、九州からは23位に鹿児島屋久島が入っているだけ。九州には魅力的な観光資源が沢山あるが、外国人に知られていないのが現実です。 観光産業振興において、観光資源は大変重要である。外国人観光客に広く認知してもらうための取り組みについて聞く。

A	<p>旅行先として選ばれるためには、委員ご指摘のとおり、まず海外の方に福岡県を知ってもらおうということが大事。このため、旅行メディアのウェブサイトにも本県特集ページの掲載、CNNトラベルで国内で唯一選ばれた本県内観光地を紹介するPR動画をANA国際線機内で放映する、などを行ってきた。</p> <p>来年度は、県の観光ウェブサイト「クロスロードふくおか」の英語サイトを全面リニューアルし、より海外観光客にヒットするコンテンツに特化した情報発信を行う。</p>
Q	<p>それぞれの国や地域で、SNS上で広がる仕掛けづくりが必要であると思うが、具体的な取り組みについて聞く。</p>
A	<p>海外の方に写真や動画をSNSに投稿してもらおう福岡キャンペーンの実施やインフルエンサーの招請といった取り組みを行っている。例えば、米国からのインフルエンサーは、「ユーチューブ」で食をテーマに約120万人に、また、中国からのインフルエンサーは、本県の観光の魅力について約100万人に情報提供した。</p> <p>来年度は、11万人のフォロワーを有する海外向け県公式フェイスブック上に新たに「福岡県ウェブ観光案内所」を開設し、SNSを活用した観光情報発信を強化する。</p>
Q	<p>5. 観光消費額を増やすために</p> <p>観光産業の振興のためには、観光消費を増やし、観光産業に従事されている方の収入アップ、やり甲斐づくりに繋げていく必要がある。そのためには県が旗振り役となり、観光資源を有する地域の観光まちづくりを支援する必要があると思うが、県の見解は？</p>
A	<p>県では、昨年度から「ふくおか観光地域リーダー共創塾」を開催し、市町村、観光協会等の職員、民間事業者を対象に、新たな消費を生み出す各地域の観光地づくりを牽引する人材を育成している。</p> <p>今年度は、14名の塾生の参画のもと、観光客の増加、観光消費額の拡大に繋がる観光地域づくりに向けた個別プロジェクトの策定支援を行っている。</p> <p>県では、市町村、民間事業者にこうした機会を提供し、新たな観光消費を生み出す仕組みづくりを支援する。</p>
Q	<p>7. 新型コロナウイルス対策と観光産業の振興</p> <p>観光産業はすそ野が広く、我が県にとって大変重要な産業である。観光産業の早期復興と更なる発展に向けた、部長の決意を聞く。</p>
A	<p>部長 新型コロナウイルス感染症の影響により、売上げが減少する中、観光産業に従事する皆様、中小企業の皆様が最も必要とされているのが、資金繰り支援だと認識している。県では、既に借入れがなされている制度投資について、返済条件の緩和を金融機関に要請した。</p> <p>県が直接貸し付けている高度化資金についても、返済条件の緩和を実施している。新たな借入れが必要な方については、制度融資の保証料をゼロとする県独自の措置を実施している。県としては、このような金融支援により、宿泊事業者の皆様をはじめ、中小企業の皆方をしっかりと支えてまいる。</p> <p>その上で、観光産業の早期復興と更なる発展に向け、観光資源の魅力向上、県域を越えた旅行商品の造成支援、SNS等を活用した本県の魅力発信など、観光振興に向けた取り組みをしっかりと進めてまいる。</p>